

7. 成果と今後の課題

(1) アンケートから明らかになったこと

①子どもたちの実態

- ・楽しいと感じている内容としては、ALT やボランティア (VET) と一緒にする「ゲーム」が多いが、高学年では自分たちでビンゴを作ったり体を動かしたりする学習に楽しさを感じている。
- ・高学年ほど「もっと英語が話せるようになりたい」と考えている。
- ・今年度になって、ゲームが楽しいだけにとどまらず、英語で話すことが楽しいという意識が高まってきている。

②担任が英語活動で大切だと考えていること

- ・子どもの意欲や興味・関心を高めること。
- ・ゲーム感覚の活動を工夫すること。
- ・目的意識をもって学習に取り組ませること。
- ・ALT や VET との連携。

(2) 研究の成果と課題

①成果

- ・積極的に英語を理解したい、英語を話したいという児童の意欲が高まっている。
- ・「英語で話せる言葉が増えた」、「いろいろな人と英語で話したい」などと実感し、英語活動のよさを味わえるようになった。
- ・ALT や VET と連携しながらも、担任教師が中心となる英語活動の授業が定着してきた。
- ・子どもたちのコミュニケーション能力の育成をめざして、本校独自の英語活動の目標や指導内容、指導方法及び教材の開発が進められている。

②今後の課題

- ・英語活動の一層の開発と、学び方の定着を図る指導のあり方。
- ・他の教科との関連を図った指導の充実。
- ・英語活動における評価規準の改善と評価方法のあり方。
- ・ALT や VET との打ち合わせ、共通理解のための時間の確保。

8. 研究同人

[平成20年度]

酒井 将志	大関 静	小松崎 衛	折本 幸子	田家 静香	久保田 和美
大沼 典子	糸賀 繁子	張替 聡美	鈴木 昌子	岩松 祐子	滝川 陽子
近藤 直美	小松 奈津子	程塚 玲子	伊東 弘美	岸下 千絵	鈴木 宏
飯塚 守	横田 恵子	武井 香織	榎沢 栄子	家入 友子	高野 哲夫
藤岡 俊幸	福島 真由美	酒井 直彦	太田 富子	菊地 利幸	名畑 ひろみ
池沢 直子	窪田 美也子	野手 里子	加藤 望道子		

[平成19年度]

小島 勝則	辻 喜美子	池田 恵津子	中野 光子	高野 英子	高木 紀子
倉田 美穂子	平木 裕一				